

2010～2011年度
宜野湾ロータリークラブ
会長 吉田 明正

<会員相互の絆を深め、地域とともに歩むクラブへ！>

今年度は当クラブ創立45周年目という節目の年度であります。これまで諸先輩方が築き上げてこられた当クラブを維持発展させるために、私のテーマは「**会員相互の絆を深め、地域とともに歩むクラブへ！**」としました。

クラブが存続していくには、会員の皆様が楽しく睦み、心をつなげて、四大奉仕に積極的に取り組んでいくことが大切だと考えています。

RI会長レイ・クリンギンス氏のテーマ「**地域を育み、大陸をつなぐ**」(Building Communities Bridging Continents)にも提唱されているように、地域との関りに焦点を絞り奉仕活動を展開します。また、上野操当地区ガバナ―も、各クラブがその自主性を発揮し、各々その足元からロータリーの本質である職業奉仕というアイサーブの実践を基本として地域のコミュニティーを育てていくことが大切で、それが力となって自ずと大陸への掛け橋となると提唱されています。

我がクラブも、会員相互の絆を深め、「一人の百歩よりも百人の一步」でという心でクラブが一丸となり、地域の青少年の活動を支援していきたいと考えています。

1. クラブ奉仕委員会

(1) 職業分類・会員選考

- ・職業分類を明確にし、選考基準に則り適正、迅速に選考する。

(2) 会員増強・退会防止

- ・2名の純増を目指す。勉強会等でロータリーへの理解を深め、積極的に活動するロータリアンの育成に努めるとともに親睦により会員相互の絆を深めながら退会者がでないような魅力あるクラブ作りに努める。

(3) プログラム

- ・会員の卓話を多くし、クラブ協議会やゆんたく会で会員相互のコミュニケーションを図りながらロータリーの理解を深め、地域の名所旧跡を訪ねながら、地域との関わりを深める。

(4) ロータリー情報・広報・会報

- ・会員情報はもとより、地区や分区の情報を掲載し、週報の充実を努める。

- (5) 出席・会場監督
 - ・ 襟を着用し、ロータリアンとしての品位を保ち、規律正しい例会にする
 - ・ 例会出席率75%以上を目指す。
- (6) 親睦
 - ・ 襟を着用し、ゲストやビジターの皆様を笑顔でお迎えし、例会終了まで心からの友情で対応する。
- (7) 友好
 - ・ 当クラブの創立45周年記念例会に友好クラブ東村山RCをご案内する。
- 2. 職業奉仕委員会
 - (1) 職業人育成
 - ・ 会員の職場訪問や職業体験を必要に応じ実施し、次の時代を担う若い人達へ、専門的な知識や働くことの楽しさをアドバイスする等支援する。
- 3. 社会奉仕委員会
 - (1) 社会奉仕
 - ・ 清掃活動等数回実施し、6月(慰霊の日)には平和を祈念したオオゴマダラを飛ばそう運動を地域の子ども達と一緒にやる。
 - (2) 青少年育成
 - ・ 今年度の重点活動(創立45周年記念事業の一環)として、地域青少年育成の観点から次の支援を行う。
 - ① アメラジアンスクールへの教材用印刷機の寄贈
 - ② 青少年スポーツ大会や青少年が参加する地域社会奉仕活動への支援
 - ③ 青少年活動を実践している自治体や団体の支援。
 - (3) 環境保全
 - ・ クラブの「エコ思想推進宣言」を継続提唱し、会員の職場や地域社会において取り組む環境保全推進事業等に対し協力・支援する。
- 4. 国際奉仕委員会
 - (1) 国際奉仕
 - ・ ロータリー財団、ポリオプラスなどRIや地区が支援するプロジェクトに対しては継続支援する。
 - (2) 青少年交換
 - ・ 派遣、受け入れ要請があれば協力・支援する。
- 5. ロータリー資金奉仕委員会
 - (1) ロータリー財団、米山奨学
 - ・ ポールハリスフェローを誕生させる。
 - ・ ポリオプラス、米山奨学等ロータリー財団の活動について広報委員会と連携して広報に努める。